

東京都立石神井高等学校 平成31年度 教科（国語）科目（現代文B）年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：2単位

対象学年組：第2学年A組～G組

教科担当者：(A組：安田)(B組：上田)(C組：馬瀬口)(D組：馬瀬口)(E組：上田)(F組：坂口)(G組：馬瀬口)

使用教科書：(精選 現代文B 改訂版 (三省堂))

使用教材：(漢字マイスター、プレミアムカラー国語便覧)

	指導内容	科目 現代文B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	随想 「地球上の「旅人」」	言葉が人生に与える影響の大きさを理解する。	小テスト 机間指導やノートの点検	3
	随想「最初のペンギン」	筆者の主張と照らし合わせながら、自分の思考と行動について振り返る。	補助教材に適宜取り組ませること で、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	1

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	随想「最初のペンギン」	筆者の主張と照らし合わせながら、自分の思考と行動について振り返る。	小テスト 机間指導やノートの点検	3
			補助教材に適宜取り組ませることで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	
	中間考査			
	小説 「山月記」	登場人物の心情を理解する。重要語句の習熟	小テスト 机間指導やノートの点検	2
			補助教材に適宜取り組ませることで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	小説 「山月記」	登場人物の心情を理解する。重要語句の習熟	小テスト 机間指導やノートの点検	7
			補助教材に適宜取り組ませること で、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	期末考査			
	詩歌 「永訣の朝」	作者の心情をはじめ、描かれた時代背景などを理解する。	小テスト 机間指導やノートの点検	3
7 月			補助教材に適宜取り組ませること で、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

8 月	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	評論 「メディアと歴史」	文章の構成や展開、表現に込められた意図を理解し、要旨を的確に捉える。	小テスト 机間指導やノートの点検	5
	評論「ミロのヴィーナス」	評論文における独特な言葉の言い回しなどを理解する。 重要語句習熟	補助教材に適宜取り組ませることで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	1

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	評論「ミロのヴィーナス」	評論文における独特な言葉の言い回しなどを理解する。 重要語句習熟	小テスト 机間指導やノートの点検	4
			補助教材に適宜取り組ませることで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	
	中間考査			
	評論 「「である」ことと「する」こと」	文章の構成や展開、表現に込められた意図を理解し、要旨を的確に捉える。	小テスト 机間指導やノートの点検	2
		補助教材に適宜取り組ませることで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。		

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	評論 「「である」と「する」こと」	文章の構成や展開、表現に込められた意図を理解し、要旨を的確に捉える。	小テスト 机間指導やノートの点検	7
			補助教材に適宜取り組ませるこ とで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	期末考査			
	短歌「木に花咲き」	一首の中で描かれている情景、作者の心理を鑑賞する力を養う。	小テスト 机間指導やノートの点検	2
12 月			補助教材に適宜取り組ませること で、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	小説 「こころ」	登場人物の行動や心情などを正確に読み取る。 夏目漱石について理解する。	小テスト 机間指導やノートの点検	4
			補助教材に適宜取り組ませるこ とで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	小説 「こころ」	登場人物の行動や心情などを正確に読み取る。 夏目漱石について理解する。	小テスト 机間指導やノートの点検	5
			補助教材に適宜取り組ませるこ とで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	

	指導内容	科目 現代文 B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	学年末考査			
	小説「レキシントンの幽霊」	物語の場面や時間の推移に注意しながら、物語の構成や展開について把握する。	小テスト 机間指導やノートの点検	3
3 月			補助教材に適宜取り組ませるこ とで、読解力の定着を図る。 授業中の発言など。	